

会員名 テラレムグループ株式会社

東京版オフィスプラ等の新たな資源循環モデル

(実施期間：2022～2024)

技術テーマ区分番号：⑱

主な実施場所：エム・エム・プラスチック株式会社（千葉県富津市）

取組活動の内容

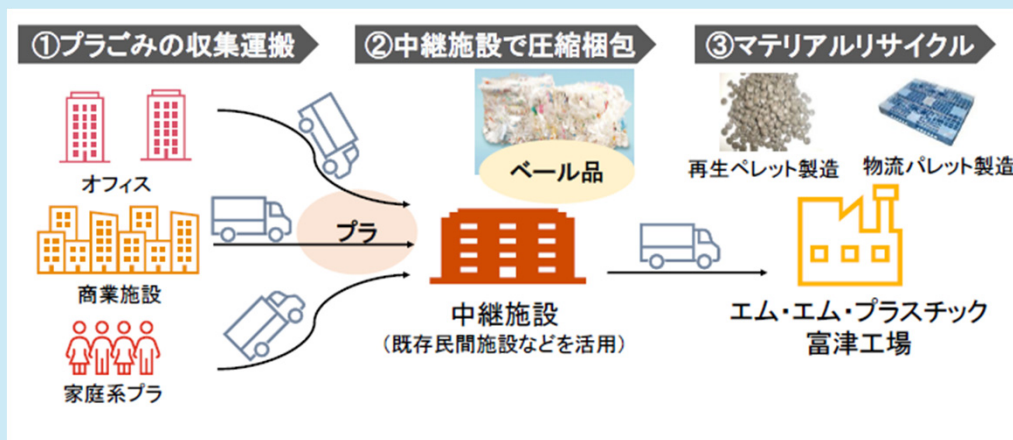
事業目的・概要

● 経緯・背景など

オフィス・商業施設などから排出される事業系プラスチックなど（以下、「オフィスプラ等」という。）のプラスチックリサイクルはRPF化や焼却処理が主流。

本事業目的は、東京都とプラスチックマテリアルリサイクル事業を先駆的に営むエム・エム・プラスチックによる共同実証事業を通じた「新たな資源循環モデル」構築。

● モデル事業のイメージ



● 期待される効果・今後の課題や展開など

効果：オフィスプラ等（OP等）10トン回収した場合、GHG排出削減量は約8.8トンCO2。東京都全体に拡大した場合、約26,386tCO2/年（都内廃棄物由来GHG排出量※1の1.5%に相当）の削減量を見込める。

課題：実証事業を通じたオフィスプラ等資源循環モデルのアップデートなど

連携実施者

- 東京都：共同事業者
- 環境省,三菱地所,三井不動産,東急不動産：廃プラ・情報提供,意見交換,助言
- アドバイザー：事業性評価,CO2排出効果可視化などサポート助言

関連外部リンク先

- http://www.mmplastic.co.jp/img/press_release20221110.pdf
- https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kankyo/oppi_mmp-fix-

イメージ図

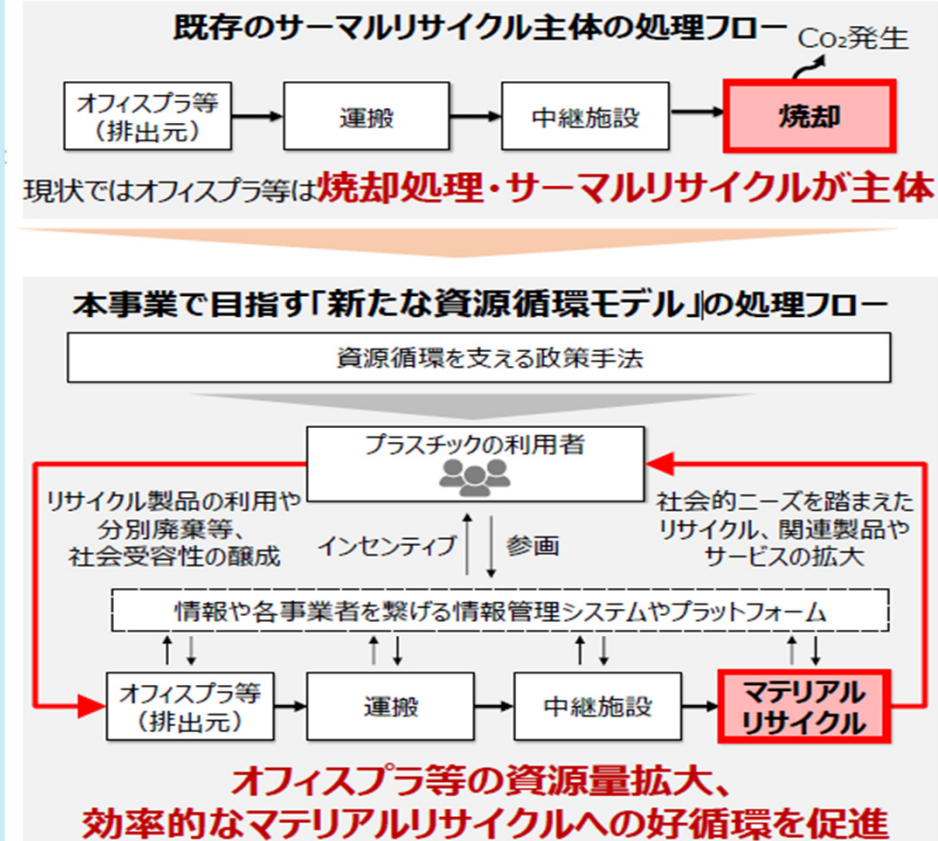


図1：目指す新たな資源循環モデル

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- 東京都令和4年度「プラスチック資源循環に向けた革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」実証事業